

大阪 あちこち

●辻子谷越え

近鉄奈良線石切駅を下車して南へ約3分歩くと線路のガードが見えてきます。これを東にくぐり抜けると生駒山に登る道があります。この道は辻子谷越えと呼ばれており、音川に沿って生駒山上に至ります。ガードを抜けてしばらく歩くと石仏が点々と並んでいます。これらは興法寺まで続いており、辻子谷の石仏として有名です。江戸時代末から明治時代にかけて四国八十八ヶ所霊場めぐりを模して石仏が各地にまつられるようになりました。辻子谷の石仏も同様にまつられ、88対がありました。

さらに上へ登って行くと漢方薬の匂いが漂ってきます。音川の兩岸には江戸時代から昭和初期まで水車小屋（工場）が造られ、生薬・胡粉・マンガンなどを加工していました。最盛期には45両が稼動しており、大阪の大工業地でした。その名残として今日でも電動によって漢方薬の原料を搗いています。また、南側には地元の有志で活動されている辻子谷昭楠会によって水車が復元され、今でも回っています。その大きさには圧倒されるものがあります。



辻子谷水車工場の模型（4分の1）



木造三面十一面千手観音菩薩立像

山頂よりやや下に興法寺はあります。当寺は役行者が伽藍を創立したとされ、本尊の木造三面十一面千手観音菩薩立像は行基作と伝えられています。平安時代のおおむね10世紀後半頃の作と思われ、大阪府の文化財に指定されています。また、春は桜・スズラン、秋は紅葉でも有名です。

辻子谷越えは山頂まで約3.3km、所要時間約1時間30分から2時間



▼お問い合わせ先▼

東大阪市教育委員会社会教育部文化財課
TEL 06-4309-3283